

# 新潟県

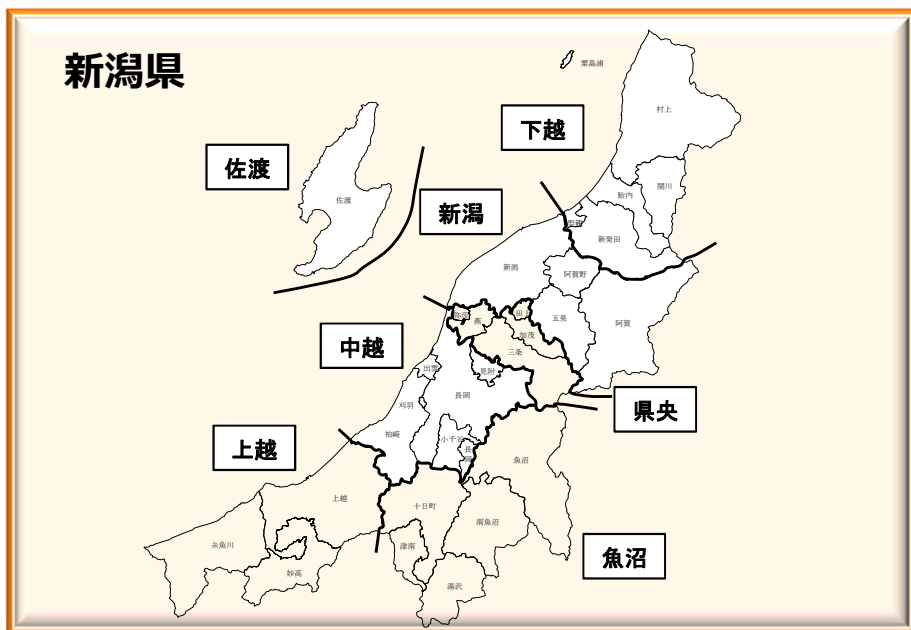
## 地域医療構想の推進について

資料概要：新潟県では、平成29年3月に地域医療構想を策定し、地域医療構想調整会議における協議を開始したところです。

同時に、県内の医療機関が抱えている課題や地域の現状に対する認識、今後担おうと考えている役割等を把握するため、全病院と個別意見交換を実施しました。

こうした取組を、次年度以降も継続していくことが重要と考えています。

## 1 都道府県及び構想区域の基礎情報



構想区域	人口 (H29.10.1)	市町村 数	報告対象 病院数	報告対象 有床診療所			医師数 (H28)	人口10 万対
				公立 病院	公的医 療機関 等	その他		
下越圏域	206,945	6	13	3	2	8	4	346
新潟圏域	907,342	4	43	5	5	33	19	2,448
県央圏域	222,886	5	9	2	3	4	8	308
中越圏域	441,114	6	18	1	5	12	5	792
魚沼圏域	163,851	5	11	9	0	2	5	240
上越圏域	268,771	3	11	4	5	2	6	472
佐渡圏域	55,212	1	5	2	2	1	0	92

構想区域	平成28年度病床機能報告における病床数						2025年病床数の必要量				
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等 ※未報告含む	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
下越圏域	388	676	217	557	0	1,838	123	442	476	477	1,518
新潟圏域	1,561	3,795	1,025	2,829	248	9,458	799	2,526	2,308	2,095	7,728
県央圏域	0	1,035	165	684	51	1,935	87	449	627	433	1,596
中越圏域	53	2,493	272	1,620	35	4,473	359	1,127	974	1,167	3,627
魚沼圏域	26	1,109	132	148	52	1,467	76	362	424	396	1,258
上越圏域	590	939	285	478	53	2,345	193	700	694	480	2,067
佐渡圏域	0	354	0	191	39	584	24	124	206	135	489

## 2 新潟県の特徴

### 新潟県の特徴

- 県土は全国第5位の面積で、政令指定都市を持つ、日本の国土と同様に南北に長い地形です。西側は日本海に面し、県境は山に囲まれ、全国有数の降雪量です。
- 人口は減少する一方で、高齢化率は全国平均より高く、2025年には県人口の32.8%を高齢者が占めると推計されています。
- 医師数は人口10万対で全国平均より低く、区域によっても差があります。
- 県全体、各構想区域内においても、様々な特性を持った地域が混在しています。
  - ・ 高度医療を提供する病院や介護施設等の医療資源が集積する地域
  - ・ 人口密度が低く降雪量も多いため、病院等の医療資源が少ない地域
  - ・ 両者の特性が併存した、医療資源が一定程度確保されている地域 など
- 人口密度は、構想区域、区域内の地域によって大きな差があります。
- 2本の新幹線、高速道路などの公共交通が充実していますが、医療機関へのアクセスなど、構想区域、区域内の地域によって交通の利便性に差があります。

### 構想区域内に存在する地域の特性

区域内でも、下記のとおり、地域ごとに課題や状況が異なります。区域全体だけではなく、区域の中の地域ごとにも施策を検討・実施します。

#### 【医療資源が集積する地域】

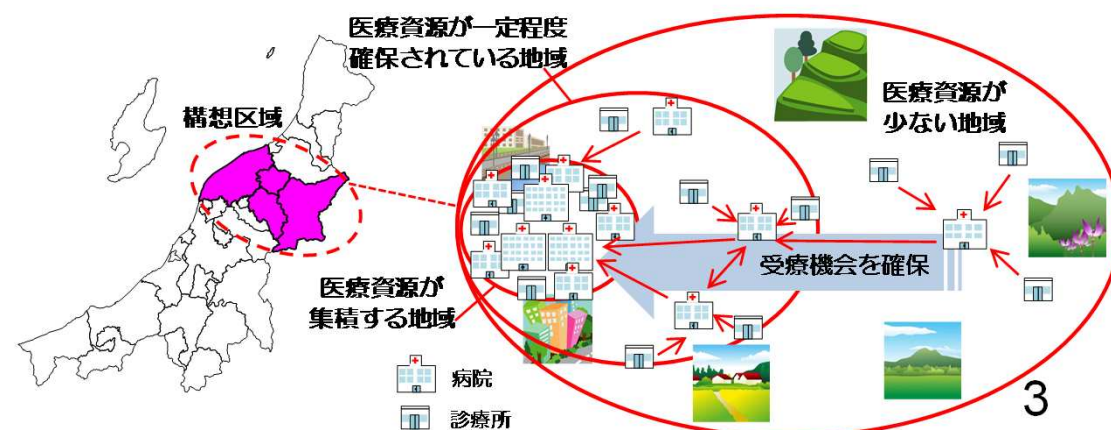
- ・ 医療資源が集積し、高度・専門的医療から慢性期医療まで地域における医療の完結率が特に高く、公共交通網や道路網が整備され、他地域から流入する患者も多い

#### 【医療資源が一定程度確保されている地域】

- ・ 医療資源が一定程度確保されているものの、医療機能の一部に不足が見られる地域で、主に、地域の基幹的な病院が地域完結型の医療を支えている

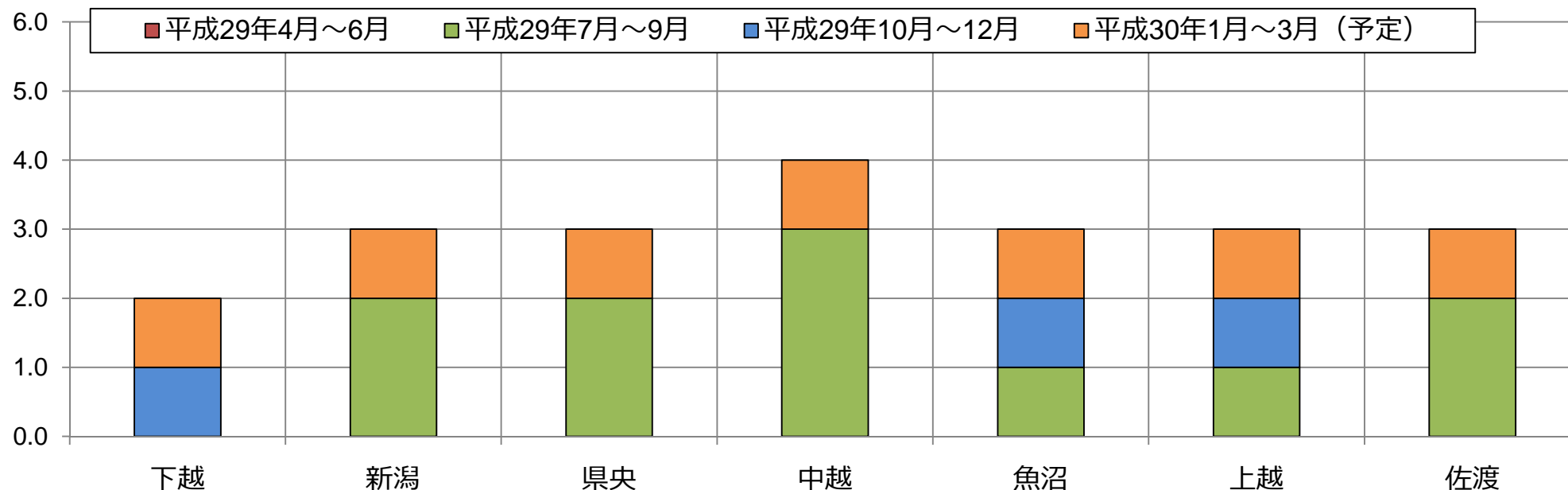
#### 【医療資源が少ない地域】

- ・ 医療資源が少なく、地域における医療の完結率が低い。地域の数少ない病院が救急医療から在宅医療までを全般的に担っている



### 3 地域医療構想調整会議における議論の進捗状況

■ 構想区域ごとの調整会議の開催状況（開催延べ回数）（平成29年12月末時点）

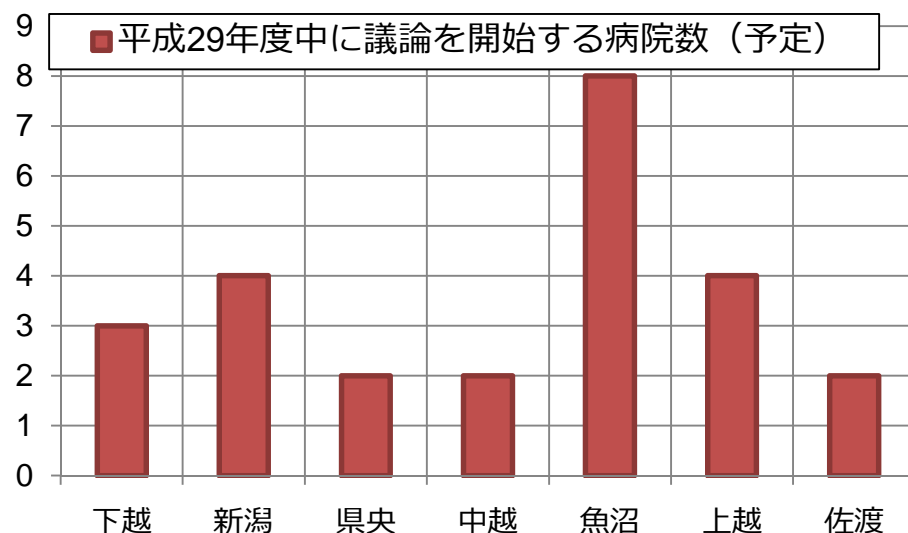


#### ■ 意見交換会等の取組例

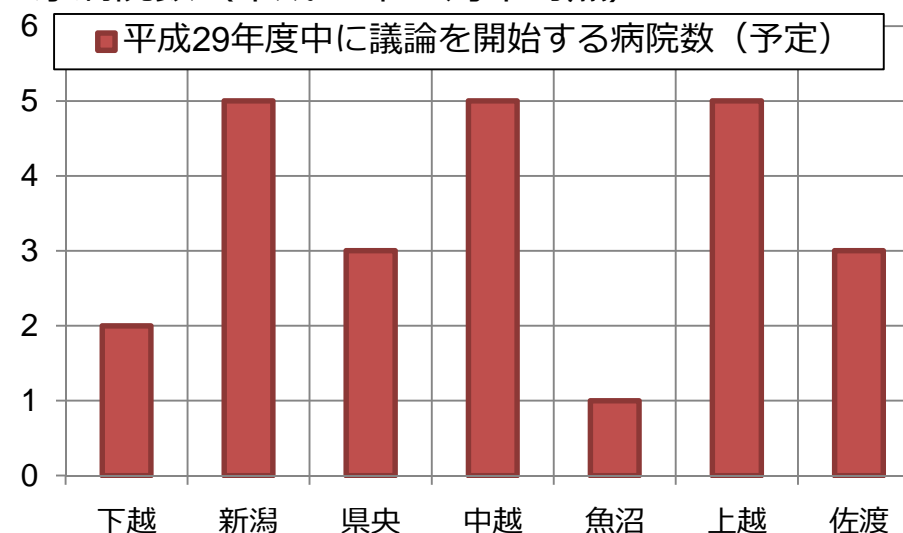
- ・ 市町村が開催する医療介護実務担当者の会議において、地域医療構想に関する説明を実施
- ・ 地域の現状や課題について意見交換するため、医療介護関係者との懇談会を開催
- ・ 医療介護関係者を対象に、地域医療構想の概要や取組の現状等について説明会を開催

## 4 新公立病院改革プラン及び公的医療機関等2025プランの進捗状況

- 構想区域ごとの新公立病院改革プランについて、調整会議での議論を開始した病院数／策定対象病院数（平成29年12月末時点）



- 構想区域ごとの公的医療機関等2025プランについて、調整会議での議論を開始した病院数／策定対象病院数（平成29年12月末時点）



### ■ プランの活用について

#### 協議の進め方

- ・ 公立病院及び公的医療機関等が策定したプランにより、2025年における役割・医療機能ごとの病床数について合意を得た上で、毎年度、具体的対応方針をとりまとめます。

#### 活用方法

- ・ 公立病院、公的医療機関等でなければ担えない分野へ重点化されているかどうかについて確認し、民間病院との役割分担や連携を進めます。

#### スケジュール

- ・ 平成29年度中に、2025年に向けた具体的対応方針の協議を開始し、協議が整わない場合は、繰り返し協議を行った上で、具体的対応方針を決定します。

## 5 地域医療構想の達成に向けた独自の工夫

### 全病院との個別意見交換の実施

・地域（構想区域）の実情に応じた医療提供体制の確保に向けて、地域医療構想調整会議において具体的な協議を進めるにあたっては、地域（構想区域）における取組の方向性を整理する必要があります。

そのため、まずは各病院の現状認識や担おうと考えている役割（意向）について把握するため、県内の全ての病院と個別意見交換を実施しました。

意見交換の結果については、今後、地域医療構想調整会議における協議においても活用するとともに、息の長い形で続けていくことが重要と考えています。

### 基金の事業提案の募集

・地域の課題解決に資する事業を効果的に実施するため、関係機関や病院を対象に地域医療介護総合確保基金の事業提案を募集しました。

募集結果を事業構築に活用することとしています。

### 医師会等の関係機関との連携

・県医師会や郡市医師会と意見交換会を開催し、地域医療構想調整会議の進捗や課題を共有しています。

また、病院関係者を対象とした研修会や有識者を交えた勉強会を行っています。

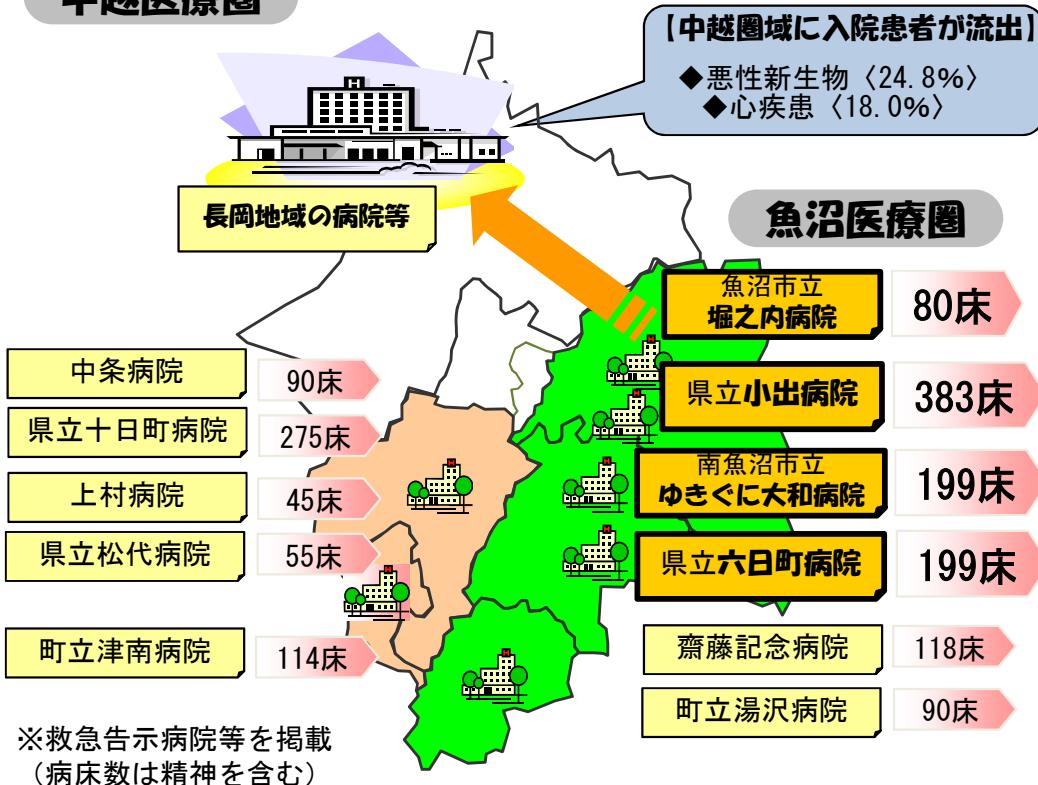


## 6 医療機関の再編・統合の参考事例

## 魚沼地域の医療再編について

## 再編前

## 中越医療圏



- 三次救急・高度医療は他圏域に依存
- 県内7圏域中で最も医師が不足している地域
- 施設間で機能分担と連携ができていない
- 周辺病院の老朽化

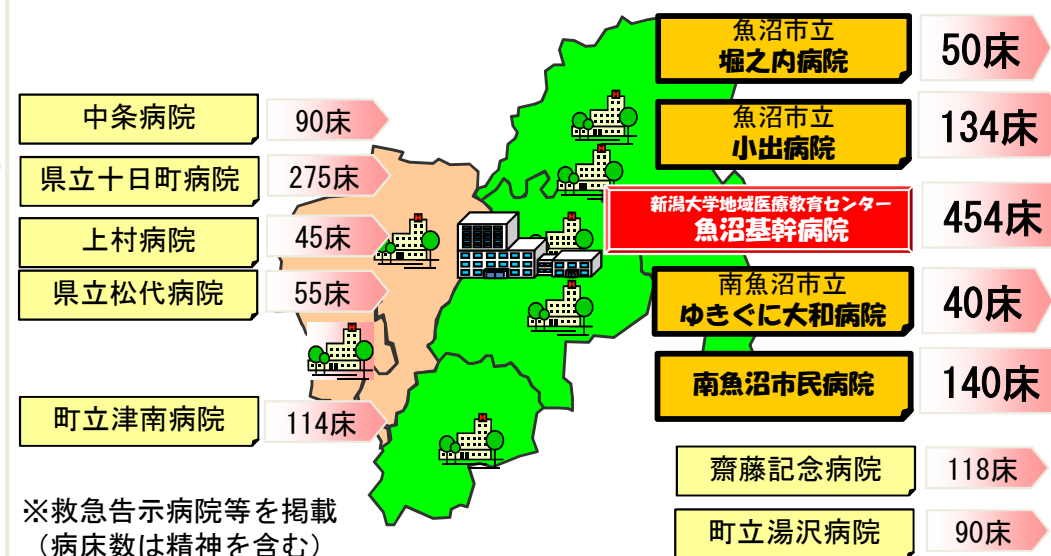
## 再編後

## 魚沼医療圏

## 基幹病院

## 機能分担・連携

## 周辺病院



- 三次救急医療や高度医療の確保
- 医療情報の共有と機能分化に基づく医療提供体制の構築
- 医師育成と医師派遣による協力体制の構築
- 病院経営効率化と経費削減

## 7 都道府県としての来年度への抱負

### 地域医療構想調整会議の運営について

- ・ 地域の実情を踏まえ、圏域単位、保健所単位など柔軟に会議を開催し、幅広い関係者の参画と協議の推進を図ります

### 医療機関の機能分化・連携の支援について

- ・ 関係団体や医療機関等から事業提案を募集し、地域の課題に即した事業構築を図るほか、厚生労働省との協議を円滑に進め、速やかな基金事業の着手に努めます

### 介護施設・在宅医療等の整備について

- ・ 市町村や医師会等と連携し、多職種間の情報共有や研修の充実を進め、在宅医療・介護連携推進事業の円滑な実施や、在宅医療推進センターによるコーディネート機能の強化を図ります